



労働市場情報 2023年6月

All rights reserved © 2023 Northernlights, Inc.

目次

- 一般職業紹介状況（2023年6月 全体）
- 地域別 有効求人倍率
- 雇用形態別 新規求人数・新規求職者数
- 産業別・事業所規模別 新規求人数
- 職業別 有効求人倍率
- 労働力調査（2023年6月）
- TOPICS

一般職業紹介状況（2023年6月 全体）

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

		季節調整値				新規求人数	新規求職申込 件数	有効求人数	有効求職者数	就職件数
		新規求人倍率	有効求人倍率	就職率 (対新規)	充足率 (対新規)					
		倍	倍	%	%	人	件	人	人	件
2023年 (令和5年)	6月	2.32	1.30	27.1	11.7	849,011	366,196	2,482,499	1,907,702	99,236
	前月比	▲ 0.04	▲ 0.01	0.20	0.30	▲ 24344	▲ 4474	▲ 1184	11304	▲ 340
	前年同月比	0.08	0.03	0.40	▲ 0.20	▲ 19435	▲ 20841	1802	▲ 51026	▲ 3969
	2019年12月比	▲ 0.08	▲ 0.27	▲ 3.40	▲ 1.00	▲ 106796	▲ 31395	▲ 177572	208394	▲ 22126

2019年12月

⇒日本で新型コロナ感染が確認される前

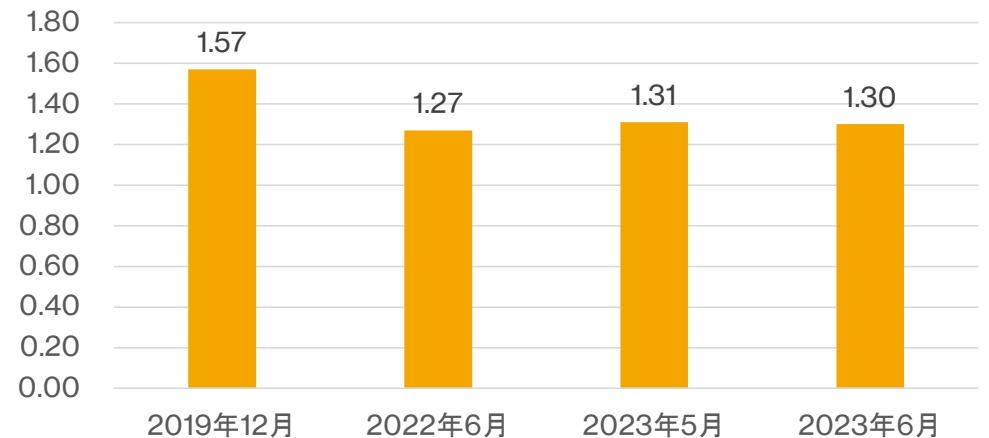
2022年6月（前年同月）

⇒全体で感染者数・療養者数・重症者数微増

就業者数が11カ月連続増加し、新規求人数が2か月ぶりに減少。
有効求人倍率は2022年末をピークに緩やかに低下。

有効求人倍率前月比の減少留まる、前月比が正社員+0.03・AP▲0.02。
APの前年同月伸び率は2022年12月以降減少傾向。
前月比・2019年12月比が再び減少傾向。

有効求人倍率

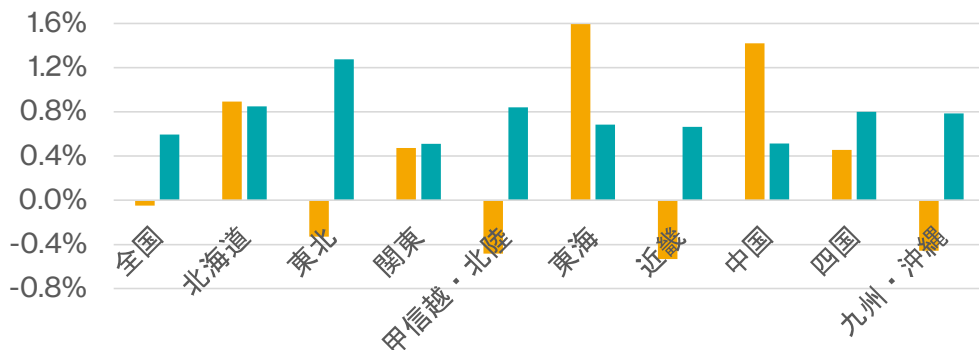


地域別 有効求人倍率

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

パートタイムを含む 一般（季節調整値）		全国計	北海道	東北	関東	甲信越 北陸	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄
2023年（令和5年）	6月	1.30	1.04	1.32	1.32	1.52	1.35	1.19	1.54	1.31	1.26
	前月比	▲ 0.01	0.00	▲ 0.02	▲ 0.00	▲ 0.02	+ 0.01	▲ 0.01	+ 0.01	▲ 0.00	▲ 0.02
	前年同月比	+ 0.03	▲ 0.08	▲ 0.04	+ 0.13	▲ 0.06	▲ 0.04	+ 0.04	0.00	▲ 0.04	+ 0.03
	2020年3月 対比	▲ 0.10	▲ 0.09	+ 0.03	▲ 0.10	+ 0.07	▲ 0.07	▲ 0.22	▲ 0.14	▲ 0.10	0.00

有効求人人数・有効求職者数 前月比伸長率



■ 有効求人人数 ■ 有効求職者数 All rights reserved © 2023 Northernlights, Inc.

求人は、ハローワークでの新規募集がすべての地域で2020年3月比（1回目緊急事態宣言前）増加、前月比で東海以西が減少。新規求職者は2020年3月比で関東・近畿・四国が増加、前月比で東北・甲信越北陸・四国が増加している。

アクティブ数前月比伸長率で見ると、北海道・関東・東海・中国・四国が求人数・求職者数いずれも増加で、関東・中国は2カ月連続。東北・甲信越北陸・近畿・九州沖縄は求人数減少・求職者数増加とギャップが目立つ。

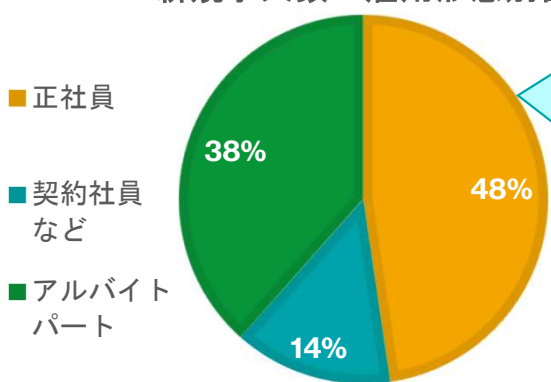
雇用形態別 新規求人数・新規求職者数

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

雇用形態別新規求人数 (実数)		合計	正社員	契約社員 など	アルバイト パート
2023年 (令和5年)	6月	873,887	416,503	121,612	335,772
	前月対比率	104.7%	106.8%	105.5%	102.1%
	前年同月比率	97.9%	99.8%	93.1%	97.6%
	2020年3月 対比率	104.7%	111.1%	100.5%	99.2%

雇用形態別新規求職者数 (実数)		合計	正社員 契約社員	アルバイト パート
2023年 (令和5年)	6月	366,745	231,862	134,883
	前月対比率	90.6%	94.7%	84.2%
	前年同月比率	95.1%	95.2%	94.9%
	2020年3月 対比率	89.3%	84.0%	100.3%

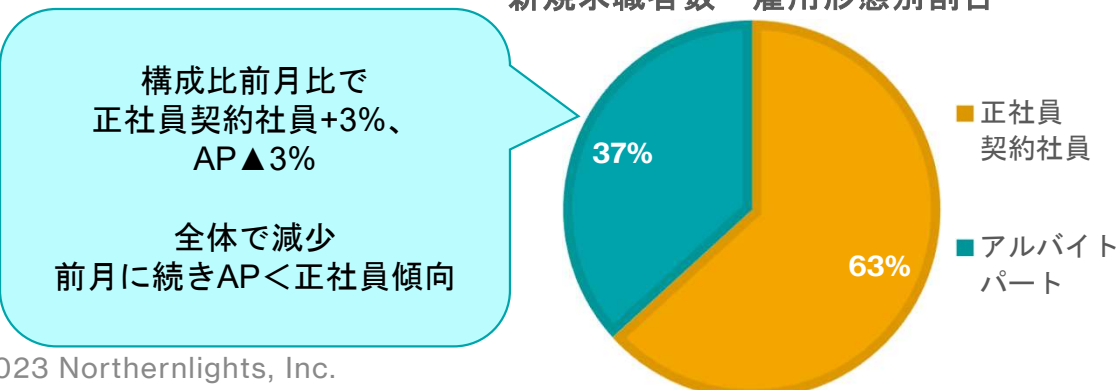
新規求人数 雇用形態別割合



構成比前月比で
正社員+1%
契約社員±0%・AP▲1%

新規求人数が増加傾向
AP<正社員採用の傾向続く

新規求職者数 雇用形態別割合



構成比前月比で
正社員契約社員+3%、
AP▲3%

全体で減少
前月に続きAP<正社員傾向

産業別・事業所規模別 新規求人数

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

産業別（実数）	2023年 （令和5年）		前年同月 比率	2020年3月 対比率
	6月	前月比率		
合計	873,887	104.7%	97.9%	104.7%
A, B 農, 林, 漁業	5,821	100.4%	88.4%	94.9%
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	438	93.2%	91.1%	98.6%
D 建設業	81,935	112.1%	92.8%	113.1%
E 製造業	84,268	108.6%	89.0%	118.0%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	834	100.4%	110.0%	92.3%
G 情報通信業	22,245	105.9%	99.5%	103.1%
H 運輸業, 郵便業	47,260	103.3%	97.8%	103.0%
I 卸売業, 小売業	105,788	99.5%	98.0%	93.1%
J 金融業, 保険業	5,476	99.5%	102.8%	106.7%
K 不動産業, 物品賃貸業	19,177	128.8%	107.7%	111.5%
L 学術研究, 専門・技術サービス業	23,136	104.9%	100.8%	113.8%
M 宿泊業, 飲食サービス業	69,789	97.0%	101.3%	102.8%
N 生活関連サービス業, 娯楽業	28,574	92.3%	99.3%	95.8%
O 教育, 学習支援業	14,364	107.4%	97.4%	79.5%
P 医療, 福祉	224,306	105.2%	100.9%	106.3%
Q 複合サービス事業	5,228	104.9%	114.3%	118.8%
R サービス業（他に分類されないもの）	121,446	108.6%	98.7%	119.2%
S, T 公務（他に分類されるものを除く）・その他	13,802	94.4%	96.3%	52.2%

事業規模別（実数）	2023年 （令和5年）		前年同月 比率	2020年3月 対比率
	6月	前月比率		
合計	873,887	104.7%	97.9%	104.7%
29人以下	566,643	105.9%	98.2%	106.6%
30～99人	199,408	103.1%	97.1%	101.8%
100～299人	72,442	103.5%	97.4%	99.6%
300～499人	15,195	100.6%	104.6%	101.0%
500～999人	10,398	94.4%	97.7%	101.5%
1,000人以上	9,801	99.4%	97.3%	111.1%

<産業別>

- ◆求人数前月比伸び率はAP（102.1%）<正社員（106.5%）
- ◆2020年3月比で正社員は、学術研究, 専門・技術サービス業+21.0%、不動産業, 物品賃貸業+11.5%、各種商品小売業▲42.3%、飲食業▲18.6%と目立つ
- ◆APは情報サービス業+31.6%、複合サービス事業+17.6%、教育学習支援業▲25.6%、小売業▲15.9%と目立つ

<事業規模別>

- ◆正社員：2020年3月比、すべての規模で増加
- ◆AP：2020年3月比・前月比ともに、29人以下規模増加

職業別 有効求人倍率

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

	6月	前月比	前年同月比
管理的職業従事者	0.97	0.09	▲ 0.07
専門的・技術的職業従事者	1.70	0.05	0.03
製造技術者（開発）	1.88	0.07	0.21
製造技術者（開発を除く）	0.72	0.00	0.01
建築・土木・測量技術者	5.00	0.14	0.09
情報処理・通信技術者	1.51	0.06	0.06
その他の技術者	1.70	0.02	▲ 0.03
医師，歯科医師，獣医師， 薬剤師	1.99	0.01	0.16
保健師，助産師，看護師	1.81	0.05	▲ 0.08
医療技術者	2.85	0.12	0.05
その他の保健医療従事者	1.82	0.06	0.23
社会福祉専門職業従事者	2.52	0.08	▲ 0.09
美術家，デザイナー， 写真家，映像撮影者	0.20	0.00	▲ 0.01
その他の専門的職業	0.74	0.03	0.06
事務従事者	0.42	0.00	0.03
一般事務従事者	0.33	0.00	0.02
会計事務従事者	0.66	0.00	0.04
生産関連事務従事者	1.52	▲ 0.04	▲ 0.24
営業・販売事務従事者	1.03	0.02	0.11
外勤事務従事者	2.42	0.15	▲ 0.16
運輸・郵便事務従事者	3.05	0.16	0.66
事務用機器操作員	0.40	0.01	0.05
販売従事者	1.95	0.03	0.21
商品販売従事者	1.88	0.03	0.16
販売類似職業従事者	2.65	0.07	0.79
営業職業従事者	2.03	0.04	0.26

	6月	前月比	前年同月比
サービス職業従事者	2.93	0.07	0.19
家庭生活支援サービス職業従事者	3.38	0.42	0.60
介護サービス職業従事者	3.73	0.19	0.21
保健医療サービス職業従事者	3.03	0.11	0.23
生活衛生サービス職業従事者	3.21	0.03	0.08
飲食物調理従事者	2.75	0.03	0.26
接客・給仕職業従事者	3.17	▲ 0.01	0.40
居住施設・ビル等管理人	0.89	0.00	▲ 0.01
その他のサービス職業従事者	1.60	0.02	0.05
保安職業従事者	6.04	0.18	0.54
農林漁業従事者	1.15	0.00	▲ 0.14
生産工程従事者	1.69	0.00	▲ 0.17
生産設備制御・監視従事者 （金属製品）	1.08	▲ 0.05	▲ 0.37
生産設備制御・監視従事者 （金属製品を除く）	2.01	0.03	▲ 0.49
機械組立設備制御・監視従事者	0.86	▲ 0.01	▲ 0.38
製品製造・加工処理従事者 （金属製品）	2.50	▲ 0.04	▲ 0.55
製品製造・加工処理従事者 （金属製品を除く）	1.95	0.01	▲ 0.09
機械組立従事者	0.75	0.01	▲ 0.15
機械整備・修理従事者	4.03	0.12	0.12
製品検査従事者（金属製品）	1.20	▲ 0.13	▲ 0.70
製品検査従事者（金属製品除く）	2.06	▲ 0.03	▲ 0.28
機械検査従事者	1.02	▲ 0.04	▲ 0.48
生産関連・生産類似作業従事者	0.95	0.03	0.02

	6月	前月比	前年同月比
輸送・機械運転従事者	2.15	0.06	0.23
鉄道運転従事者	0.62	0.01	0.12
自動車運転従事者	2.53	0.10	0.35
船舶・航空機運転従事者	0.52	0.06	0.09
その他の輸送従事者	0.83	0.02	0.02
定置・建設機械運転従事者	1.78	0.02	0.07
建設・採掘従事者	5.07	0.12	0.22
建設躯体工事従事者	9.50	▲ 0.06	0.24
建設従事者（建設躯体工事 従事者を除く）	4.57	0.08	0.42
電気工事従事者	3.16	0.08	0.00
土木作業従事者	5.77	0.27	0.35
採掘従事者	4.62	0.75	▲ 1.15
運搬・清掃・包装等従事者	0.77	0.01	0.03
運搬従事者	1.21	▲ 0.01	▲ 0.04
清掃従事者	1.67	0.01	▲ 0.03
包装従事者	1.54	▲ 0.09	▲ 0.76
その他の運搬・清掃・包装等 従事者	0.32	0.00	0.02
分類不能の職業	0.00	0.00	0.00
介護関係職種（注2）	3.94	0.20	0.35

「福祉施設指導専門員」「その他の社会福祉の専門的職業」、
「家政婦（夫）、家事手伝い」「介護サービスの職業」の合計。

宣言前比で正社員は専門技術、専門事務、営業、保安、
製造、建設、運搬清掃包装で求人増、求職者は飲食、
販売以外で増。APは製造、運送、建設、運搬清掃包
装、家庭生活支援で求人増、求職者はほとんどで増加。

All rights reserved © 2023 Northernlights, Inc.

労働力調査（2023年6月）

出典：総務省統計局「労働力調査」

※単位：万人

雇用形態別内訳	男女計	前年同月比	男性	女性	男性 前年同月比	女性 前年同月比
正社員	3638	+ 36	2354	1284	+ 9	+ 27
アルバイト・パート	1494	+ 28	361	1132	+ 11	+ 15
派遣社員	153	▲ 5	66	87	▲ 3	▲ 2
契約社員	289	+ 6	155	135	+ 5	+ 2
嘱託	114	+ 1	72	41	+ 3	▲ 2
その他	83	▲ 2	41	42	0	▲ 2

前年同月：2022年6月（全体で感染者数・療養者数・重症者数微増）
コロナ禍中で雇用形態別・男女別の推移が見られる

前月比で正社員が男性▲8万人・女性▲9万人、非正規労働者が男性+36万人・女性+23万人
労働力人口が男性+22万人・女性+9万人、非労働力人口が男性▲21万人・女性▲7万人

前月比で男女とも正社員減少・非正規労働者増加。労働力人口は男女ともに増加。
前年同月比で就業者数が+26万人で11カ月連続増加。正社員+36万人で3カ月連続増加、非正規+28万人で3カ月ぶりの増加。

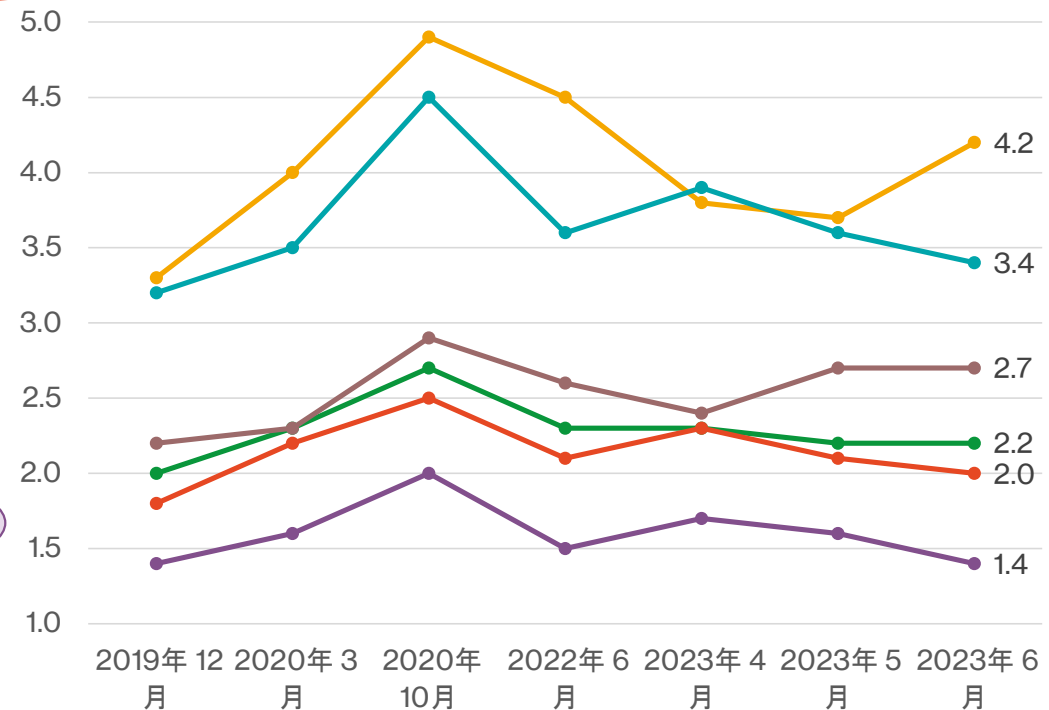
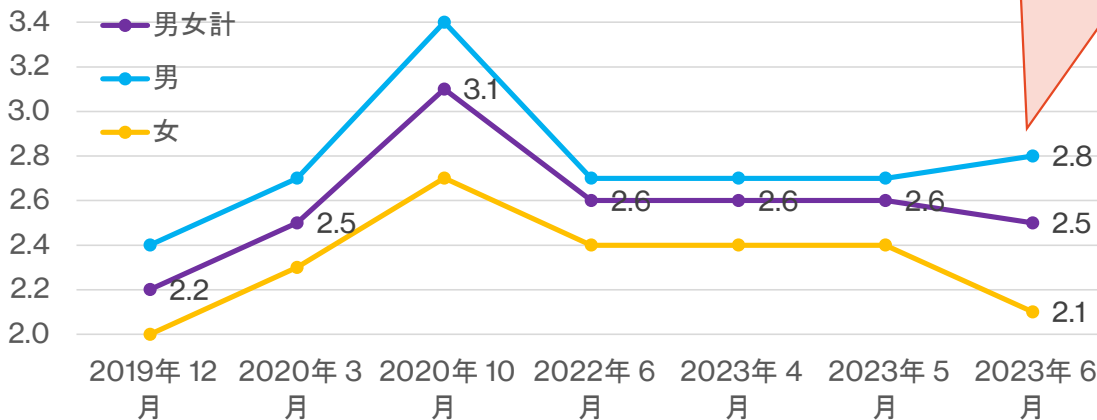
労働力調査（2023年6月）

出典：総務省統計局「労働力調査」

完全失業者（%） 季節調整値

前月比▲0.1
男性+0.1、女性▲0.3

完全失業率（%） 年代別



<完全失業率とは？>

労働力人口のうち調査期間中に下記に当てはまる比率

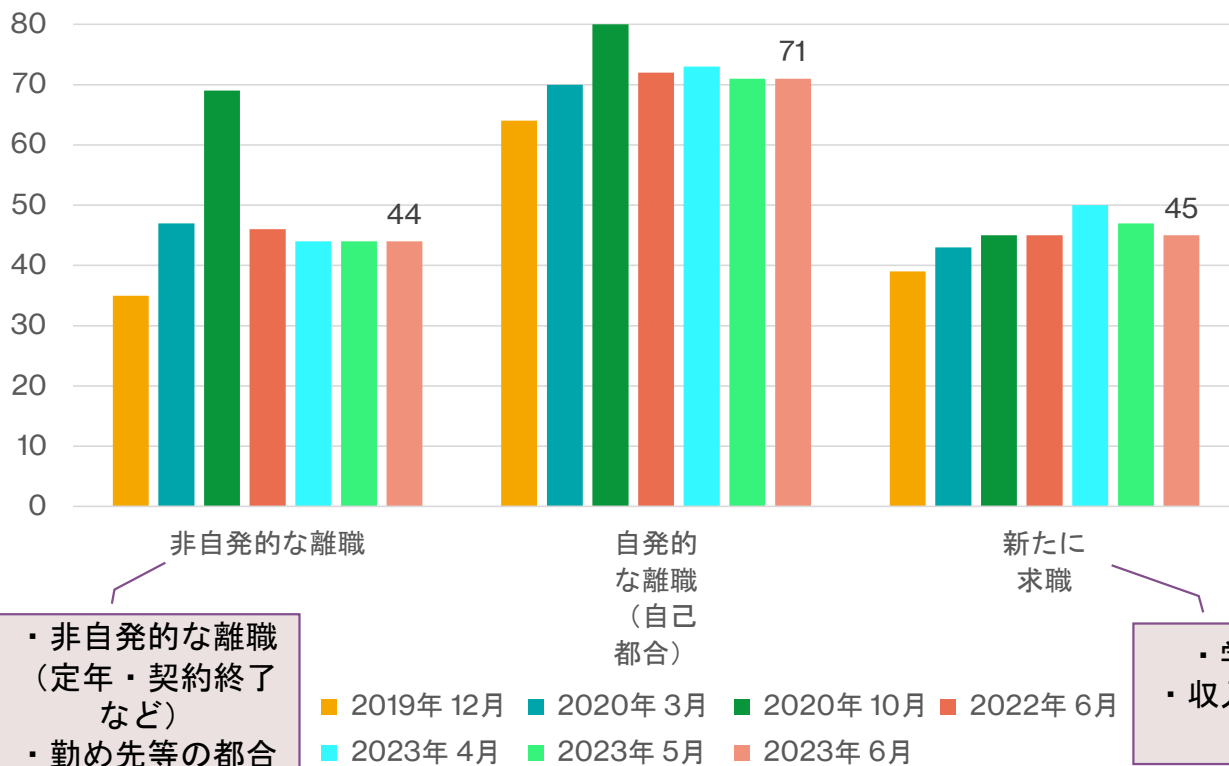
- ・ 仕事がなくして仕事をしなかった
- ・ 仕事があればすぐに就ける ・ 求職活動をしていた

完全失業者数▲4万人（前月比）で3か月連続減少
15~24歳での増加は時期的要因と見られる

労働力調査（2023年6月）

出典：総務省統計局「労働力調査」

完全失業者（万人） 求職理由別



非自発的な離職は2020年3月程の水準に留まり、勤め先都合、定年・契約終了要因ともに前月同数。自己都合による離職も前月同数となった。休んでいたが労働による収入が必要になり新たに求職を始めた人は、前月比▲2万人で、4カ月連続で2020年10月を超える水準となった。押し並べて失業理由いずれにおいても減少傾向となっている。

6月は引き続き製造業や建設業の企業が原価高騰や物価高の影響で求人を出し渋りをはじめ有効求人数が4カ月連続減少、求職者数は2カ月連続増加している。有効求人倍率が低下傾向だが、就業者数の増加から雇用情勢は持ち直していると見られる。就業者数について、特に宿泊・飲食サービス業が12カ月連続増加し、コロナ禍前の水準に近づいてきている。

- ・非自発的な離職（定年・契約終了など）
- ・勤め先等の都合

- ・学卒未就職
- ・収入の必要発生
- ・その他

TOPICS①

JBRC 学生 & 留学生のアルバイト事情

学生・留学生ともに「勤務時間帯」重視でアルバイト探し。留学生は生活費や学費のために労働

授業に影響がない時間帯で働きたいとする中、留学生の方が生活や学業のためにアルバイトで生計を立てる必要性に駆られていることから、週当たり勤務日数・1日あたり勤務時間の希望が学生より留学生の方が多い。留学生のアルバイト探し重視項目や現在の仕事内容を見ても、給与重視で塾講師・家庭教師・語学教師を選択している割合が多い。今後希望する仕事では、「宿泊施設の施設」が2割。日本の働く環境が学生・留学生にどう映っているかの調査では、学生・留学生ともに研修や育成がしっかりしているとする人が5割以上。賃金水準の魅力やキャリアアップについては学生が3割以下、留学生が6割弱と感じ方に開きがある。外国人の働きやすさについては道半ばと言える。

大学生等			留学生		
【アルバイト探しの重視項目TOP 10】					
1位	勤務時間帯	58.0 %	1位	給与	47.5 %
2位	勤務地	56.7 %	2位	勤務時間帯	43.8 %
3位	通勤時間 (通いやすさ)	55.8 %	3位	勤務地	43.2 %
4位	勤務日数 (休日、休暇)	54.9 %	4位	勤務時間数	41.2 %
5位	仕事内容 (職種)	51.4 %	5位	職場の雰囲気	39.5 %
6位	勤務時間数	50.4 %	6位	仕事内容 (職種)	39.1 %
7位	就業形態	47.5 %	7位	通勤時間 (通いやすさ)	36.8 %
8位	給与	46.9 %		外国人の雇用に慣れていること	%
9位	勤務期間 (長、短期)	46.0 %	9位	仕事を通して日本語が勉強できること	34.8 %
10位	職場の雰囲気	40.6 %	10位	勤務日数 (休日、休暇)	29.9 %
(n=1,180)			(n=699)		

※学生調査では、直近1年間のアルバイト探しにおいて、各項目について「絶対条件だった」「他の条件が良ければ我慢した」

「もともと関心なかった」を聴取し、「絶対条件だった」を選択した人の割合を集計

※留学生調査では、調査当時に行っていたアルバイトを選んだ際に重視したものを聴取

出典：ジョブズリサーチセンター

「比べて分かる学生 & 留学生のアルバイト事情

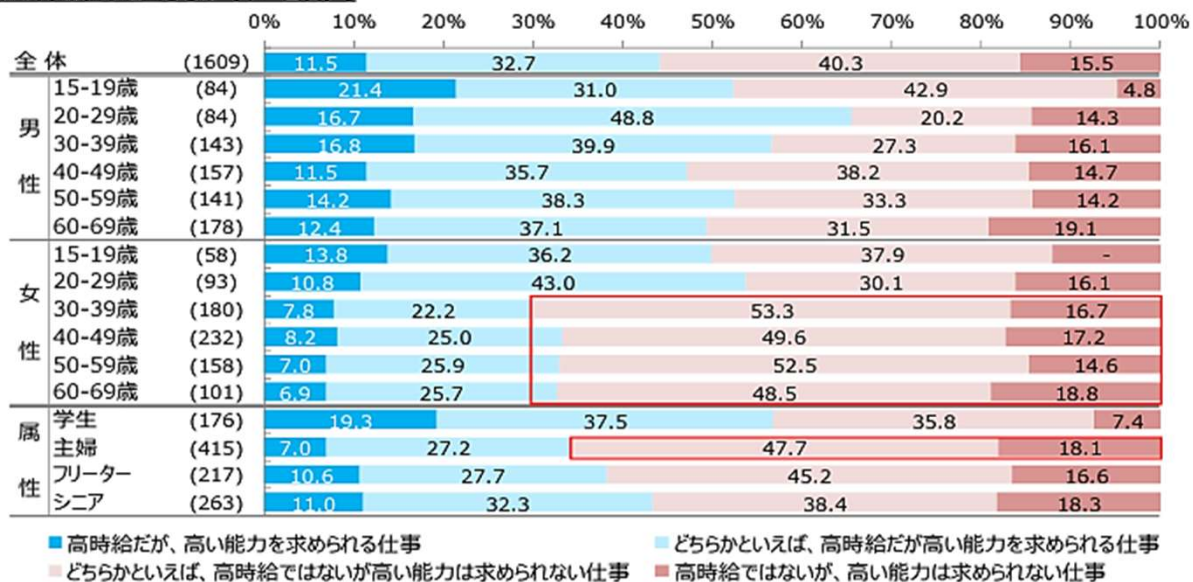
- 「<学生版> 求職者の動向・意識調査2023」と「留学生1,000人のアルバイト実態調査2023」の比較より-

https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20230726_2795.html

TOPICS②

マイナビ アルバイトの仕事に望むものは？

【アルバイトの仕事に望むもの（単一回答）】



【高時給だが高い能力を求められる仕事】【高時給ではないが高い能力は求められない仕事】—どちらを望むか？

【高時給ではないが高い能力は求められない仕事】を選択した割合について、男女別で見ると男性<女性、属性で見るとシニア<フリーター<主婦が高い。

理由について、全体的に「自分にスキルがないから」「自信がないから」といった、高時給アルバイトの選択自体が難しいと感じていることがうかがえる。女性40-59歳が全体と比べてスキルに自信がない傾向があり、特に同年代主婦層だと「周りと比較され、自分を悲観してしまいそうだから」も高い。シニアにおいては高時給アルバイトに対し、「職場の雰囲気が悪そうだから」「人の入れ替わりが激しそうだから」が全体と比べて高い。

出典：マイナビキャリアリサーチLab
「非正規雇用に関する求職者・新規就業者の活動状況調査（2023年5-6月）」
https://career-research.mynavi.jp/research/20230728_55509/